

令和6年度

藤沢市がもっと良くなるために

予算案を審査しました。

令和6年度8会計予算及び2条例の計10議案は、3月13日に設置された予算等特別委員会において、8日間にわたり審査が行われ、3月27日の本会議で全て可決されました。ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせします。

委員長	西 智	副委員長	安藤 好幸	令和6年度 予算等特別委員会 member										
委員	土屋 俊則	味村耕太郎	佐賀 和樹	有賀 正義	栗原 貴司	松長由美絵	石川 麻央	安田 景輔	須田 一行	吉松 巳希	松尾 宏之	平川 和美	谷津 英美	佐野 洋

各会派の意見・要望



ここでは、予算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。

市民クラブ藤沢、民主クラブ、藤沢市公明党、Visionふじさわ、湘南維新の会、自由民主無所属の会、アクティブ藤沢、We 藤沢は全予算案等に賛成し、日本共産党藤沢市議会議員団は令和6年度一般会計予算ほか5特別会計予算案等に反対しました。

市民クラブ藤沢

①政策課題にリーチしない事業は総合指針の見直しに合わせ撤退すること。②各種窓口業務の民間委託は再考を。③デジタルを駆使した業務改善ができる人材育成に努めること。④市民活動や地域活動に特化した地域ポイント制度の前向きな導入検討を。⑤一日も早いおくやみ対応のワンストップ窓口の開設を。⑥保育の受け皿確保のため、加配保育士の配置補助などの拡充を。⑦HPV(※1) ワクチン定期接種の対象者に接種率向上のための積極的な説明を。⑧段ボールの戸別収集の早期実現を。⑨地産地消推進のため、市内北部でも鮮魚や未利用魚の販売に取り組むこと。⑩児童生徒の読書推進のため蔵書管理システムを早期に導入すること。



藤沢市公明党

①「感震ブレーカー」(※2) の設置補助の早期実現を。②「おくやみ窓口」利用周知と寄り添い型のサービスを。③一人暮らし高齢者に特化した相談支援を。④CSW(※3) の人員配置の強化を。⑤学校施設の空調設備の早急かつ計画的な整備を。⑥新規就農者への適切なアドバイスと相談支援を。⑦小・中・高校生対象に自転車用ヘルメット購入費助成事業の実施を。⑧遠藤笹窪谷公園の早急な駐車場増設を。⑨「一声ふれあい収集」夏の間は、週2回の回収をすること。



Visionふじさわ

①朝日町駐車場の繁忙期における混雑解消を。②旧辻堂市民センターの民間活用の検討を。③災害時の尿処理対応は関係各方面との調整体制を構築すること。④漁港での食堂設置に向け調整を。⑤中学校の昼食を原則給食にする方針検討を。⑥法定外繰入金を調整し、国民健康保険料の増額を回避する措置を。



自由民主無所属の会

①多様な事態への対応のため都市連携の取組継続を。②ハイトスピーチ解消は表現の自由を抑圧しないよう細心の注意を払うこと。③実効性のある有効な福祉人材確保策の確立を。④健康寿命日本一に向けて取組継続を。⑤遠藤葛原線の早期全面開通を。⑥子どもや教職員への防災研修会の取組継続を。



We 藤沢

①保育料負担軽減については、一時保育も含め検討を。②小学校給食無償化早期実現を。③中学校給食は原則全員給食へに向けた整備を。



民主クラブ

①妊産婦や乳幼児対象の避難訓練や体験会の実施を。②女性が抱える生きづらさで悩まない社会づくりに向け、各方面への理解促進や機運醸成を。③終活に関する相談窓口の設置を。④職員がモチベーション高く働ける給与水準の確保を。⑤次世代自動車のインフラ整備の拡大を。⑥ビジネスケアラーへの支援検討を。⑦子育てにやさしい藤沢を代表する施設として児童館や地域子どもの家の充実を。⑧産後ケアは現場の声を反映し実情に見合った対策を。⑨藤沢産をより多くの市民が食べられるよう一層の取組を。⑩特別支援教育の介助員派遣事業の予算増額とさらなる教育環境の改善を。



日本共産党藤沢市議会議員団

①国保、介護の値上げは断じて許されない。負担軽減を強く求める。②性暴力抑止、防止することにつながるアクティブバイスタンダー(※4)の認知や有効性についての発信を。③中学校給食は全員制の単独自校方式を実施し無償化へ進むべき。④高齢者への経済的支援策としてシルバーパス制度の創設を。⑤带状疱疹ワクチン助成制度について早急に踏み出すべき。



湘南維新の会

①チームFUJISAWA2020は様々な角度からパートナーシップ締結を。②おくやみ手続き支援は予約なしの来庁者にも柔軟でやさしい対応を。③リサイクルプラザの来場者数増加を。④放置自転車対策で子どもの絵の路面シート化提案を。⑤市民病院事業会計黒字化に向け治験受け入れ推進を。



アクティブ藤沢

①災害対策に地域版BCP(※5)を策定し地域包括ケアシステムのアップデートを。②発達支援の人材を公募で育成し教員不足への活用を。



用語説明

- (※1) HPV…ヒトパピロマウイルス。性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスで、子宮頸がん等、多くの病気の発生に関わっている。
- (※2) 感震ブレーカー…地震時、設定以上の揺れを感知したときに電気を自動的に止める機器。
- (※3) CSW…コミュニティソーシャルワーカー。地域の皆様のさまざまな困りごとに対して、「個別支援」と「地域支援」の視点から支援を行い、支えあいの地域づくりのお手伝いをする専門職。
- (※4) アクティブバイスタンダー…さまざまな暴力やハラスメント・差別が起きたとき、その場に居合わせた第三者が被害を軽減するために、状況に応じてできる行動をする人。
- (※5) BCP…事業継続計画(Business Continuity Plan)。災害時などに業務が中断しないために、また中断した場合でも早期に重要機能を再開させるための仕組み。

注目の質問と回答



注目 Point 1

市ホームページのリニューアルについて

Q 新しいホームページでは、やさしい日本語のページにたどり着きやすくし、内容を充実させてはどうか。

A リニューアルの際、多言語自動翻訳機能や、やさしい日本語変換機能等を追加し、トップページに配置するなど、誰にでもしっかりと情報が伝わるようなサイト構築を目指す。

注目 Point 2

おくやみ手続案内の窓口設置について

Q おくやみ手続きに関して、関係各課が連携し市民に寄り添った対応が必要と考えるが見解を聞きたい。

A 煩雑で多岐にわたる手続きを分かりやすく案内することで、遺族の心身の負担軽減につながるよう、関係各課と連携し、開設に向け準備を整えていく。

注目 Point 3

デコ活の推進について

Q 今後のデコ活※推進に向けた、見解を聞きたい。

A ホームページや各種環境イベントなどを通じて、デコ活アクションの周知に努め、さらに、実践的な取組の体験などを検討し、新しい豊かな暮らし創りを目指し、様々な取組を進めていく。

※デコ活…脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動。

注目 Point 4

小児医療助成費について

Q 本市の医療費削減のためにも、神奈川県が負担する助成対象年齢を引き上げるよう要望すべきと考えるが見解を聞きたい。

A 事業の継続的かつ安定的な運営のために財源確保は重要であるため、引き続き県に対し、助成対象年齢を拡大するよう要望していく。

注目 Point 5

ビジネスケアラーへの支援について

Q ビジネスケアラーへの支援について、今後の取組を聞きたい。

A 企業が取り組むべき事項について周知啓発を図り、様々な悩みを抱える労働者からの相談に対しても、庁内関係課や関係機関と連携して対応を強化していく。



注目 Point 6

中学校給食について

Q 今後、中学校給食の喫食率が上がった際の対応について聞きたい。

A 現在、デリバリー給食の増加を想定し、作業時間の前倒しや調理員の増員などを考えており、安定的な学校給食供給のために、給食施設をつくることも検討している。



注目 Point 7

計画建築部の許認可DXについて

Q 許認可申請者が来庁することなく、文書事務を処理する許認可プラットフォームの構築について、課題や考えを聞きたい。

A 令和7年度の本運用に向け、許認可申請を所管している全ての課の協力が必要になることから、横展開できるよう働きかけを行っていく。

※予算等特別委員会の詳細につきましては、市議会ホームページ議会録画放映、および5月下旬に掲載される会議録をご確認ください。